

News

一関市ものづくり人材育成事業 金属材料講座の受講者を募集します

材料の観察と分析に関する技術の習得を目指して金属材料講座を実施します。

本年度は、①**金属組織観察研修**と②**金属材料試験及び破面観察研修**の2コースを開催します。是非ご参加ください。

※ 複数コース選択可能です。

日 時▶①令和8年9月8日(火) 10:00～16:00

②令和8年9月9日(水) 10:00～16:00

会 場▶(講義)岩手県南技術研究センター

(実習)一関工業高等専門学校

募集人員▶各コース5名程度

受講料 ▶各コース 2,000円(税込)

※ 受講の際にご持参ください

申込期限▶令和8年9月1日(火)

※ 定員に達し次第、受付終了となります

申込方法▶こちらのURLまたは二次元コードからお願いいたします。

<https://forms.gle/k6WFCuqn7Hi5ZRyJ8>

*詳細は当センターのホームページをご確認ください。

<申込先>



一関高専で行われた実習の様子

News

令和8年度IT活用セミナー 申し込みは9月9日(水)まで

県南技研だより第256号(2026年7月号)でお知らせしましたとおり、令和8年度IT活用セミナー(併催:第274回産学官イブニング研究交流会)を9月16日(水)に開催します。

詳しくは、当センターホームページを御覧ください。

申込期限は9月9日(水)となっております。多くの方の参加をお待ちしております。

申し込みは、こちらのURLまたは二次元コードから

URL: <https://forms.gle/mTgSrXxFSGrne6YD7>

<申込先>



News

企業情報交換会 in いちのせきの開催方法の変更について (地域企業情報ガイダンスと同時開催となります)

例年2月に開催している「企業情報交換会 in いちのせき」について、会場の一関ヒロセユードームが天井照明工事により使用できないことから、今年度は開催方法を変更し「第18回地域企業情報ガイダンス」と同時開催することとしました。一関工業高等専門学校第一体育館を会場に10月16日(金)に開催する予定です。開催要領など詳しくは、決まり次第お知らせいたします。



9月は
第3水曜日が・・・
イブニングの日

9月16日の開催です。皆様お誘い合わせのうえ、ご参加頂きますようお願いいたします。

★第274回産学官イブニング研究交流会のご案内

(IT活用セミナーと併催)

場所:ホテル松の薫一関

日時:令和8年9月16日(水)

講演の部 15:00～17:50 無料

交流会 18:00～19:30 5,000円

Topics

令和8年度ものづくり産業振興事業
品質管理(QC)検定3級取得支援講座を開催

7月3日(金)、10日(金)、17日(金)の3日間、品質管理(QC)検定3級取得支援講座を開催し、10名が参加しました。参加者からは、「会社内で耳にする管理方法についての詳しい所まで知る事が出来た」、「日々の業務とつなげて考えやすく、演習でイメージが掴みやすかった」との声が聞かれました。



講座の様子

Thanks

台湾の国立雲林科技大学 視察団施設見学

7月10日(金)、一関市と交流を行っている台湾の国立雲林科技大学の視察団が県南技研の施設見学にいらしていました。当センターでは新素材応用研究室および環境機能応用研究室の分析技術・機器を説明しました。どのような企業や学校が利用しているのか、賛助会員の仕組みなど、関心のあった点についてご質問などもいただき、国際的な技術交流としても大変実りある時間となりました。



ご来訪記念撮影

Topics

一関市ものづくり人材育成事業
オーダーメイド分析講座を開催

7月10日(金)、お持ち込みいただいたサンプルに合わせ実習を行うオーダーメイド分析講座を開催しました。試料の前処理からLC/MSによる測定・データ解析を行い、試料間での差異を確認することを目標としました。参加者からは、「説明が分かりやすく説明時間と実操作の時間バランスが良かった」、「プロジェクトの目的に合致した指導を受けることができた」との声が聞かれました。



講座の様子

Topics

少年少女の科学の芽育成事業
令和8年度キッズサイエンスを開催

8月1日(土)、令和8年度キッズサイエンスを開催しました。『ライトレースロボットに触れてみよう!!』をテーマに、一関高専の阿部林治先生が講師を務め、一関市、平泉町から18組の親子が参加しました。参加児童からは「線に沿って動くのがすごい」、「ライントレーサーがこんなにすごいロボットだと初めて知った」との声が聞かれました。



当日の様子

Column

化学(ケミストリー)の視点 ★連載版No.37

※今回の担当は、当センター研究開発部 主席技師 手島です。

白い雲はなぜ黒くなる？ — 水とエネルギーで見る夏の空 —

「さっきまで白い入道雲だったのに、いつの間にか空が真っ黒に……」。夏には、こんな空の変化を目にすることがあります。白い雲は、本当に黒く変化しているのでしょうか。

雲は空気中の水蒸気が上空で冷やされてできた小さな水滴や氷の粒の集まりです。太陽の光がこれらの粒によってさまざまな方向に散乱するため、雲は白く見えます。しかし、その雲が成長して積乱雲になると、雲の中で光が何度も散乱され、雲の底まで届く光が少なくなります。そのため、私たちからは灰色や黒色に見えるようになります。つまり、黒い雲は「黒い物質でできた雲」ではなく、光が届きにくいほど発達した雲なのです。

では、なぜ積乱雲はあれほど大きく発達するのでしょうか。地表付近の暖かく湿った空気が上昇すると、気圧の低下に伴って膨張・冷却され、水蒸気が水滴へと変わります。このとき、水蒸気が水滴になる際に放出されるエネルギー(潜熱)によって、周囲の空気が暖められます。すると、周囲より暖かくなった空気はさらに上昇しやすくなり、強い上昇気流が発生することで、積乱雲の発達につながります。発達した積乱雲は、激しい雨や雷、突風などをもたらす、場合によっては竜巻を伴うこともあります。

さらに規模を大きくして考えると、台風にも同じ「水の状態変化」が深く関係しています。暖かい海から大量の水蒸気が供給され、その水蒸気が上空で水滴へと変化するとき放出される潜熱が、台風を発達・維持する重要なエネルギー源になります。

白い雲、黒い雨雲、夕立、そして台風。夏の空で起こる巨大な現象をたどってみると、その中心では、身近な化学物質である「H₂O」が姿を変えながら、エネルギーを運んでいます。



日本海での海上竜巻(筆者撮影)

公益財団法人 岩手県南技術研究センター South Iwate Research Center of Technology

〒021-0902 岩手県一関市萩荘字高梨南方114番地1

TEL:0191-24-4688 fax:0191-24-4689 URL: <http://www.sirc.or.jp/>

